

教員採用 Q & A

Q1 令和6年度の採用試験に関するスケジュールを教えてください。

A	実施時期	実施内容
	令和5年4月中旬	実施要項等発表
	6月25日(日)	第一次選考(筆記試験)
	7月1日(土)または、7月2日(日)	第一次選考(集団面接)
	7月下旬	第一次選考結果発表
	8月7日(月)~下旬	第二次選考
	9月下旬	第二次選考結果発表
	1月上旬	健康診断・内定者研修
	12月~2月下旬	新卒者対象採用前実習
	4月1日	採用

※試験の詳細については「令和6年度滋賀県公立学校教員採用選考実施要項」で確認してください。

Q2 福利・厚生はどのようになっていますか。

- A**
- 医療費の補助
病気や負傷で療養したとき、病気や負傷で療養のため入院したとき
 - 給付金・手当金
結婚、出産、入学、災害、障害、リフレッシュ活動助成金(10年・20年・30年)、休業等(傷病・育児・介護他)
 - 厚生施設利用補助
宿泊施設、保養施設、旅行業者
 - 割引斡旋
レジャー施設、宿泊施設、観劇・スポーツ観戦、医療、旅行業者、物品販売、教育、冠婚葬祭、住宅メーカー
その他、生涯生活設計づくりや貸付等があります。

Q3 健康支援や相談体制はどのようになっていますか。

A 各種検診の他にも、教職員相談、メンタルヘルス相談窓口等を設置し相談を受け付けています。教職員が安心して子どもと向き合えるようサポートしています。

Q4 採用後の給料について教えてください。

A	区分	初任給
	修士課程修了	266,735円
	大学卒業	242,075円
	短大卒業	217,738円

※これらの額は、給料、教職調整額、義務教育等教員特別手当および地域手当の合計額です。
この他に扶養手当、住居手当、通勤手当、勤労手当等が、それぞれの条件に応じて支給されます。なお、経歴に応じて、上記の額に一定の額が加算されます。
(令和5年4月1日現在の額であり変更することがあります)

Q5 過去の採用選考問題を見ることはできますか。

A 過去の教員採用選考試験問題および正答例等は、滋賀県庁新館2階の県民情報室で閲覧およびコピー(有料)をすることができます。
窓口：県民活動生活課県民情報室 (TEL: 077-528-3121)

Q6 昨年の採用試験の合格者数と倍率を教えてください。

令和5年度合格者数等		
職種	合格者数(人)	倍率(%)
小学校教員	252	2.4
中学校教員	135	4.1
高等学校教員	80	4.8
特別支援学校教員	65	2.2
養護教員	11	10.4
栄養教員	6	5.3
合計	549	

公立学校講師も
随時募集しています。

滋賀県公立学校教員採用 検索

滋賀で先生になろう

今度はあなたが



魅力あふれる滋賀で、 子どもたちと未来を創ろう

母なる琵琶湖。田園。山並み。豊かな自然に恵まれた滋賀県。
幾度も歴史の表舞台に立ち、多くの文化財を有しています。
自然と調和のとれた街並みで利便性も良く
住みやすい街として知られています。

3つの柱で教育施策を総合的に推進します。

子ども一人ひとりの
個性を大切に、
生きる力を育む



社会全体で支え合い、
子どもを育む



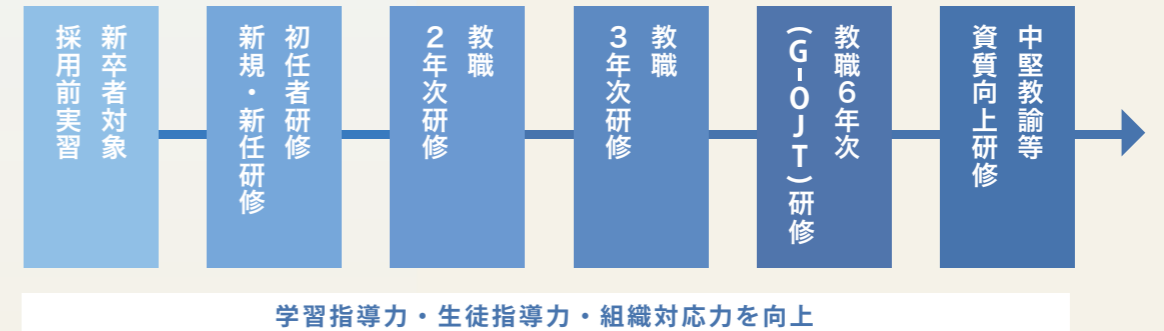
全ての人々が学び続け、
共に生きるための
生涯学習を振興する



滋賀県では万全の研修体制で若手教員をサポートします。

新規採用から、教職 11 年目程度の教員について、系統的・継続的な研修体系を確立しています。特に新規採用から 3 年次までで 25 日間、教職 6 年次では 2 日間、中堅教諭等資質向上研修では 8 日間の校外における研修を行います。

※滋賀県総合教育センターにおいて実施している研修について掲載しています。



滋賀県の公立学校には、すべての教員が学び合える組織がある

各校のOJT 組織



日常的な OJT により若手教職員を支えています。



教職経験 6 年程度の中堅教職員を若手教職員のリーダーにして、若手教員が授業づくりや生徒指導等について、学び合える校内研修体制 (G-OJT: グループによる OJT) が確立されています。

滋賀県の教員を志す皆さんへ



滋賀県教育委員会 教育長 福永 忠克

滋賀県は、琵琶湖をはじめとする豊かな自然と、歴史的・文化的遺産にあふれ、子どもたちの教育の場として、大変恵まれた環境にあります。県内の公立学校では、これらの環境を大いに生かした「滋賀ならではの学び」を展開しており、子どもたちの学びの質が一層高まるよう各校で授業改善に取り組んでいます。

教員は、子どもたちとともに成長し続けることができる、やりがいと満ちたすばらしい職業です。この滋賀県を、皆さんの夢を叶える場として選んでいただけることを心から願っております。皆さん、お一人おひとりが、やりがいとモチベーションをもち、いきいきと働いていただけるよう、滋賀県教育委員会も全力で支援してまいります。

滋賀ならではの本物体験・感動体験の推進

琵琶湖を中心とした豊かな自然、文化芸術を活かした体験型の教育カリキュラムを構築しています。

うみのこ(「湖の子」体験学習)

やまのこ(森林環境学習)

たんぼのこ(農業体験学習)

ホールの子(文化芸術体験学習)



学習船「うみのこ」

草津市立志津小学校
教諭 **大橋 果歩**

学生時代に出会った先生は、勉強を教えるだけでなく、様々な面で支え、導いてくださいました。そのような先生を目指しています。

先輩からの
アドバイス



滋賀県立甲良養護学校
教諭 **藤田 雄人**

大学の社会学部で、特別支援学校教諭の免許を取得できることがわかったことをきっかけに新しいことを学び、道を広げようこの職業を選びました。

先輩からの
アドバイス



私を導いてくださった先生のように、
今度は私が導きたい。

教壇に立つことが決まったとき、小学生の頃からなりたいと思っていた職業だったので、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

教員になることができたことを友だちに伝えると、びっくりする人もいれば、先生になると思っていたよと言ってくれる人もいました。昔から人前に立ったり、みんなのまとめ役となったりする経験をしていたので、その様子をみて、「先生に向いているね。」と言われることが多くありました。

学校に赴任する前は、今まで出会ってきた先生のように私になれるのかというプレッシャーを感じていましたが、一方でワクワク感もありました。

子どもたちと出会った初日は、私も子どもたちも緊張し、表情が硬く、子どもたちの中には泣いてしまう子もいました。

教員になって気付いたことは、児童の成長が近くでみられるということです。

何かを出来るようになったときには、子どもたちはとてもよい表情をしています。

私は滋賀県の出身で、子どもの頃から自然が身近にある環境で育ちました。今、勤務する学校も自然に触れる機会がたくさんあります。そういった自然がすぐ近くにあるところが滋賀県のよいところだと思います。私のことを支え、導いてくださった恩師の先生方のように、私も誰かの記憶に残るような先生になれたらと思います。



大学の授業や、教員採用選考試験の勉強に悩むこともあるかもしれませんが、それを乗り越え採用内定をいただいた先には、教員にしか見られない景色、子どもたちの笑顔があります。あきらめない気持ちを大切にしてください。

1日のタイムスケジュール

8:20	始業
	朝の会
	一時間目
11:40	四時間目
	給食
	昼休み
13:00	そうじ
	五時間目
	六時間目
14:30	帰りの会
	下校
	学級事務・教材研究
16:50	終業

悩みごとは、同僚にすぐに相談

児童との意思疎通が上手くいかないときは、放課後に先輩に相談しています。先輩方の経験をもとにしたアドバイスを聞くことができ、それを次の日に実践して解決することで、モヤモヤした気持ちを引きずることなく次へ進むことができます。



特別支援学校では、子ども一人ひとりとじっくり向き合います。これまで、障がいのある人との接点がありませんでしたが、教員として挑戦できるよう、教員同士で学び合い、支え合う体制があります。是非、一緒に働きましょう。

1日のタイムスケジュール

8:35	始業
	朝の会
	一時間目
11:00	四時間目
	給食
	昼休み
13:30	そうじ
	五時間目
	六時間目
14:40	帰りの会
	下校
	学級事務・教材研究
17:05	終業

チームで子どもたちを見守ります

特別支援学校の学級内では、複数担任のチーム体制で取り組んでおり、様々なことを相談し合える環境があります。子どもたちの成長を仲間とともに喜び合える楽しさがあります。



伝えようと一生懸命な子どもたちの中に、一人ひとりの頑張りが見えます。指差しや目線で伝えようとする姿をとおして、最初はわからなかったことも、一緒に過ごすうちに、少しずつ子どもたちの思いがわかるようになってきました。困ったことがあっても、教員の仲間と一緒に考え支えてくれます。

丁寧に時間をかけて、一人ひとりの心に寄り添う日々です。そんな毎日の中で、成長、発見、喜びがあります。



向き合う度に心が通じ合い、分かり合える。



子どもの成長を感じられる楽しい仕事です。



長浜市立浅井中学校
教諭 大橋 佑至

子どもの成長の早さにはびっくりします。昨日まで出来なかったことが、次の日に急に出来るようになることも珍しくありません。生徒に、自分が「こういうふうになりたい」と思ってアプローチしても、うまくいかないことがあります。学び合っただけで、自分が想定したよりも子どもたちがさらに成長したときには、とても嬉しくなります。

教員にとって大切な力は「見る力」と「受け入れる力」です。教育現場では、たくさんの人との関わりの中で、様々な話を聞きます。その話の中に込められた思いや願い、意見を次に繋げ、広げることが教員の役割だと考えます。時には先を見通せないこともあります。先輩教員に助けていただいています。先輩教員の皆さんの様子を見て、この職業を楽しみながらやってもらえるなと感じ、お手本にするともに自分の励みにもなります。教員は、学習はもちろんのこと、いろいろなことを子どもたちに教え、伝えています。希望と可能性が広がるスケールの大きな仕事だと思います。



先輩からのアドバイス

教えるのは、勉強だけではなく。学生などのうちに、色々な経験をしてください。今までの自身の経験で感じたことや学んだことを伝えることが、子どもたちの成長につながります。

教員は一丸となり、子どもたちを見守っています。



滋賀県立国際情報高等学校
教諭 石倉 夏希

はじめは、「どんな生徒と出会って、どんな授業をしようか。」という期待の一方で、「私に教員という仕事ができるのだろうか。」という不安がありました。でも、先輩教員から「一人に対応していくことは、まずない。みんなでやっていくんだ。」という声かけをいただき、不安が次第に消えていきました。

教員という仕事のよいところは、生徒の成長が一番身近で見られることです。教員は、生徒の成長に関わることができる、やりがいのある仕事です。私は今、バレーボール部の顧問をしていますが、「先生、試合に勝てた」と喜んでいる時の生徒の顔は、授業中とはまた違うもので、「かわいい」生徒のいろいろな表情を見ることが出来ます。また、教員は、子どもの人生の成長過程に関わることができるやりがいのある仕事です。大人相手の仕事とは違う魅力があります。多くの生徒と関わっていくのは大変だと思いつつ、毎日が充実しています。

希望と可能性が広がるスケールの大きな仕事だと思います。



先輩からのアドバイス

学校現場で働くことに不安があると思いますが、決して一人で対応することはありません。教員みんなで子どもたちを見守っていきます。教員になって、是非一緒に頑張りましょう。

子どもや先生方に支えてもらえる職場です。



米原市立河南小学校
養護教諭 村木 いる香

自分自身の学校生活を振り返った時に、心身ともに健康で、笑顔で学校生活の大半を過ごしてきたことを思い出しました。その経験から、今度は自分が子どもたちの心身の健康を支え、笑顔を導く養護教諭になりたいと思いました。子どもたちは、けがや体調不良、心のしんどさを理由に保健室にやってきます。私が手当てをしたり声をかけたりすることで、「行ってきます！」と笑顔で教室に戻っていく瞬間がうれしいです。

教師は、子どもたちに「教える」とか「与える」というイメージがありましたが、実際に学校現場で働いてみると、子どもたちが「いる香先生！」と呼んでくれる度に私自身が元気をもらえていることがわかります。

時には悩むこともありますが、職員室に帰ると、先生方が「おかえり」と温かい空気で待ってくださいます。子どもたちと先生方に元気をもらい、助けていただける温かい職場です。



先輩からのアドバイス

滋賀県の子どもたちは無邪気で、はつらつとしています。学校現場では、「子どもが好きだ」という思いを前面に出してください。その気持ちを伝えることが何より大切です。

成長期の子どもたちの笑顔と健康をつくります。



栗東市立葉山中学校
栄養教諭 武永 紗代子

栄養教諭は、給食全般の管理を行うことに加え、献立を考えたり食育指導を担当したりします。子どもと調理が好きな私にとって、やりがいのある仕事です。

給食の時には、教室に行き、子どもたちの食事の様子を観察します。給食は多い日は8千食ほど作ります。子どもたちに美味しく食べてもらい、成長と発達を支えています。

子どもたちの中には、苦手な食べ物がある子もいます。そういった子どもに、「美味しいから、一口だけ食べてみよう。」と声をかけることによって、食べられるようになると、とても嬉しい気持ちになります。また、食育の授業で、成長期の体にはカルシウムを摂ることが大切なことを伝えると、苦手だった牛乳が飲めるようになる子どももいます。栄養教諭として、やりがいを感じる時です。細やかな声かけや気付きが子どもたちの健康づくりにつながっていることを日々実感しています。



先輩からのアドバイス

給食センター内では、先輩のみなさんから多くのアドバイスをいただいています。子どもが好きで、健康に関わることにやりがいを感じる皆さんに、ぜひおすすめの仕事です。